

令和 6 年

第 8 回教育委員会会議録

(開会 令和 6 年 7 月 18 日)

(閉会 令和 6 年 7 月 18 日)

岐阜県可児市教育委員会

令和6年7月18日午前9時00分開会
会場：市役所5階第2委員会室

出席委員

堀部好彦君（教育長）

伊藤小百合君（教育委員）

小栗照代君（教育委員）

長井知子君（教育委員）

梶田知靖君（教育委員）

説明のために出席した者

飯田晋司君（事務局長）

木村正男君（学校教育課長）

三宅愛彦君（学校教育課主任指導主事）

古野 寿君（学校教育課指導主事）

水野 修君（教育総務課長）

水野伸治君（学校給食センター所長）

石黒智子君（教育研究所主任指導主事）

只腰知子君（学校教育課学校支援係長）

出席委員会事務局職員

木村雄大君（教育総務課総務係長）

伊藤師啓君（教育総務課総務係）

日程及び審議結果

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

4 教育委員報告

5 議 事

①議案第21号 令和7年度使用教科用図書の採択について（原案可決）

②議案第22号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について（原案可決）

6 各課所管事項

7 委員からの提案協議事項

8 その他

9 閉 会

開会の宣告

- **教育長（堀部好彦君）** これから令和6年第8回の教育委員会会議を開催させていただきます。

定足数につきましては、出席委員が過半数を満たしておりますので、この会議は成立するというところでよろしく申し上げます。

前回会議録の承認

- **教育長（堀部好彦君）** 前回の会議録の承認について。
- **教育総務課長（水野 修君）** 前回会議録に変更はございません。
- **教育長（堀部好彦君）** 変更はなしということで、よろしく申し上げます。

教育長報告

- **教育長（堀部好彦君）** 教育長報告でございますが、3点お願いをします。

1点目ですが、6月24日の市長・尾木特別顧問との懇談会でございます。前回の教育委員会会議の日の午後に行われたこの懇談会ですが、今回も尾木ママのいろいろなお話をお伺いしながら、尾木ママの教育観に触れることができたな、学べたなど私自身は思っております。いつも思うのですが、尾木ママは子供たちの個性重視の見方を持っておられる。そして、加えて子供たちの主体性を引き出すということについても、とても大切にしておられるということを感じています。

この懇談会の翌日に、東明小学校と広見小学校を訪問されました。そのことが新聞の記事でも紹介をされておりました。そこを読んでいても、尾木ママが主体性を引き出すことを重視しておられることを感じました。記事に載っていたのは、給食を子供たちと一緒に食べて、そのときに子供が野菜が嫌いだから食べられないというお話を子供がした折に、尾木ママが何と子供に返したか。その中身が、野菜を自分で育ててごらんと。そうすると、野菜がかわいくてかわいくて仕方がなくなるからと返されました。この一言からも、個性、子供たちに無理強いするとか、枠にはめるとかということではなくて、子供が自らそうしたくなるように支援していくという考え方を感じました。この話を校長会、教頭会でもお話をさせていただいて、教育観を磨いていく、アップデートしていくということの大切さをお伝えしているところでございます。これが1点目です。

2点目は、可児市学校給食センター運営委員会が7月5日に開催されました。今年度も、資料を基に明確な運営方針を出していただきました。令和6年度も、これならしっかりできると思って大変ありがたく思いました。昨日、警報が午前中出続けるのではないかと考えていたところが、10時までに解除されたものですから、11時半までに子供が登校、給食も簡易給食ということで、よく対応していただいたと思っています。一番中途半端で大変な対応ではなかったと思っています。的確な対応、これにつきましても感謝申し上げます。これが2点目です。

3点目、中体連の激励です。7月に行われたこの大会なんですが、私と木村課長と三宅主任指導主事です。手分けして2日間ずつ回ってきました。今年も子供たちの精悍なプレー、本当に一生懸命な姿を見てきました。先生方も指導者として、また大会の運営とし

て、いろいろなところで御活躍をしておられました。部活動改革の中で、中体連が今後どんな運営になっていくのかということも注視していきたいと思いつながら参加をさせていただきました。

以上3点、報告でございます。

教育委員報告

- 教育長（堀部好彦君） それでは、教育委員の報告に移ります。
- 教育委員（長井知子君） おはようございます。よろしく申し上げます。

私からは、3点お話しさせていただこうと思います。

まず1つは、可児市学校給食センター運営委員会に出席しました。そこで、私の子供が小学生だった今から8年から10年ぐらい前、PTAをしていたときに、子供たちが朝御飯を食べないということが結構大きな問題としてあったんですけども、この会議の資料の中で、8割、9割の子が朝御飯をきちんと食べてくるというデータがありました。この数年の間で、学校の先生方や給食センター、そしてPTAの皆さんもそうだと思うのですが、それに対しての何らかの行動なり、思いを伝えた結果かなと思いました。

2つ目は、学校訪問についてです。印象に残ったことが2つありまして、何年か学校訪問させていただいているんですけども、その中で初めて聞いた先生からのお話がありました。それは、心の病気を抱えている子が今多いけれども、その子供たちが専門にかかる病院がない、少ないということでした。教頭先生が個人的な意見なんですがおっしゃって、なかなかそうやって個人的な意見って言えないというか、言ってくださってよかったと、知れてよかったと思うんですけども、あったとしても、その病院で二、三か月待ちだと、すぐに受診できないというお話でした。こちらの管轄ではないかもしれないんですけども、そういったことが先生方や現場で起きているということを知っているといいと思ってお話しさせていただきました。

次は、不登校の件です。ある学校で、学校に行けなかった子が学校に行けるようになったそうです。前、教育長がこの会議の中で、家から出られなかった子が学校に行けるようになった。それは、きっと子供に心に刺さったことが何かあったと思うとおっしゃっていたことがあって、ああなるほど、そうだよなと思ったので、今回先生に行けるようになった理由をお聞きしてみたんです。そうしたら、その答えが給食と居場所だったということでした。皆さん御存じかと思うんですけども、給食を食べる子供たちの背景には、家で御飯が食べられなくて、給食で栄養を取ったり、1日の御飯を食べたりだとか、そういった子もいるんですけども、改めて給食の存在や大きさに気づかされました。ありがとうございます。以上です。

- 教育長（堀部好彦君） 給食の値打ちというんですか、価値、給食を提供することの価値というのは本当にいろいろあると長井委員のお話から改めて私も思いました。

あと、教頭が漏らしていた心の病を癒やすというか、治療するところがなかなかないということについて、教育委員会としてどこまでやれるか分かりませんが、それは一つ大きな問題ではないかと捉えます。また、学校訪問の折にそういうニーズ、そういう状況を把握されたときにはまた教えていただけるとありがたいと思います。ありがとうございました。

○ **教育委員（伊藤小百合君）** おはようございます。よろしくお願いいたします。

学校訪問の話をしたと思います。

私は、瀬田幼稚園に行ってきました。今の園長先生が5年ぐらい前にもここに勤めてみえたということで、その園長先生を知っている保護者の方から、コロナ禍前にやっていたことを行ってほしいという要望があるということでした。やっぱりコロナ禍でいろいろなことを見直すことができたので、少しずつ戻しつつ、ちょっとこれはしなくてもいいんじゃないかということを検討しながら、できることはやって、新たなことにも取り組んでいきたいというお話がありました。また、地域との関わりも少なくなったので、少しずつ周りにもアプローチをかけて戻していきたいという話もありました。

あと、東明小学校がやっている架け橋プログラムで、瀬田幼稚園も一緒に参加しているんですけども、そのプログラムの中で、子供たちの姿に、育ちに目を向けましょうというものがあるんですけども、先生方に架け橋プログラムをやってみてどうですかという問いをしたら、自分たちの子供を見る目が変わってきたことが成果ではないかという話を先生方から聞くことができました。

幼稚園の園児数なんですけれども、かなり人数が減ってきて、先ほど、その5年前にもいた今の園長先生が、すごく子供たちが減ってちょっと寂しいという話をしてみえたんですけども、その分、先生方の目が行き届くようにと、こういうところを取り組んでいきたいというお話もありました。

あと、兼山小学校にも訪問しました。校長先生がすごく力を入れてみえて、小規模特認校の不登校だから兼山小学校に行くという、もちろんそういう子たちもいるんですけども、それがメインじゃなくて、いろいろな行事だったりとか、特色を持った教育をやることによっていろいろな子たちを集めたいというので、いろいろ考えてみえました。久田見小学校と連携して金管バンドを一緒にやってみたり、久田見小学校も人数が少ない学校なので、この間は学校に行って交流をしてきているという話もあって、いろいろ校長先生も考えて運営をされていると感じました。

その中でお話があったんですけども、小規模特認校でいわゆる通学区外から来ている児童が、中学校へ上がる時に共和中学校へ行けることを知らない保護者がいるという話を聞きまして、はっきりと行けるんだよということを伝えたいので、書面とかにしているのかという問いをもらいました。私たちもはっきりは分からなかったので、預かった話になりました。

また、話は変わりますけれども、先月の会議の中で登校中の小・中学生が高校生と接触する事故があったというお話がありました。私も息子が自転車通学をしているので、気をつけなきゃいけないよという話をしたところ、いつかはちょっと分からないんですけども、学校の放送で、そういう目撃者の情報とか、もし当事者がいたら申し出るよという放送があったそうで、きちんと連携ができていたのを感じました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** いろいろ報告ありがとうございます。

架け橋プログラムについては、今、紹介していただいた先生の意識の変化というのは非常に大きな成果だと思いました。子供たちを見る目が変わってきたというお話だったかと思いますが、どのように変わってきたかということにはちょっと分からなかったんで

すけれど、きっと教育観の広がり、深まりというようなことではないかと思いました。

そして、小規模特認校について校長から申出があったということ、今これは担当、教育総務課には伝わっていますか。

- **教育委員（伊藤小百合君）** 一緒に訪問を。
- **教育総務課長（水野 修君）** 同席しております。
- **教育長（堀部好彦君）** なるほど。失礼しました。訪問を一緒にされているので伝わっているということで分かりました。ありがとうございました。
- **教育委員（梶田知靖君）** おはようございます。

6月26日に、可児市社会福祉協議会の評議員会へ出席をさせていただきました。年々自治会等からの会費が減少傾向にあるというお話があったんですけれども、7月1日から会費規程を改正して、賛助会員を新たに設けられたり、QRコード、クレジット決済でも会費を手軽に納められるような取り組みをやってみえました。年々本当に自治会なんかも減っていくばかりですから、こういった動きをしているのはいいことだと思います。

それから、9月14日に可児市社会福祉大会があるんですけれども、今年は歌手の木山裕策さんがお見えになるそうです。なので、ぜひ皆さん、福祉センターのほうへお越しただけるとといいのかなと思います。

それから、学校訪問のお話をさせていただきます。今年度はたくさんの学校を訪問させていただきました。ありがとうございます。その中で、2校についてお話をさせていただきます。

西可児中学校へ訪問した中で、前々から教育委員会会議でも話題になっているチーム担任制のお話を聞かせていただきました。今、白川中学校へ行かれた太田前校長先生が最初に声を、手を挙げてくださって始めたということだったんですけれども、チーム担任制を導入したことで様々なメリットが出ているということでした。、子供たちからの相談が非常に増えて、子供たちも話しやすい先生を選択して相談できるので、いじめだったりとか早期発見につながっているということを生徒指導の先生もおっしゃって見えました。それから、夕方の保護者からの電話といった対応もかなり減って、残業時間が20時間削減したという報告を受けました。

それから1つ、これは教頭先生の個人的な意見とはおっしゃっていたんですけれども、近くの若葉台周辺に、以前だと少なかった外国籍の子供たちがかなり増えてきたということで、国際教室が足りないということをおっしゃっていました。ここは本当にあくまでも個人的な意見とおっしゃっていましたが、蘇南中学校だったりとか、そういう国際教室が充実している学校に、最初お子さんが行けるといいなというお話もされて見えました。

それから、蘇南中学校のお話をさせていただきます。こちらは、昨年度まで学校教育課長でいらっしゃった佐野校長先生がいらっしゃって、第一声に学校運営がとても楽しいということをおっしゃって見えました。先月、全校生徒が1,000名を超えたということで、本当に楽しそうに学校運営をされて見えました。教育長も御存じかもしれませんが、教育総務課でもう動いてくださっていて、多目的トイレを造るというお話をしてくださいまして、そのいきさつとしては、LGBTのお子さんが担任の先生ではなくて話

しやすい先生にお話をして、打ち明けて、学校でどうしたらいいかと話し合いをして、多目的トイレを造るという流れになったということでした。そういった学校の環境、いい環境ができていたと思います。

それから、今年度から始まった教育支援センターも見させていただきまして、こういったリーフレットも頂きました。こちらは、管理棟、職員室がある建物の一番上、4階にあるんですけども、もともとたしか国際教室か何かで使っていたところを相談室と教育支援センターで分けて造ってみえて、支援センターのほうが、とても部屋はきれいだったんですけども、空調設備がなかったんですね。私が、そのときに、学校に来られない子で、例えば夏休みに入ったら来られるお子さんとかいらっしやらないですかという話を校長先生にさせてもらったら、実は1人そういう子がいますという話もあり、これから、もう本当に今日からとても暑い毎日が続くんですけども、そういったエアコンなんかも充実していると、夏休みでもお子さんが気軽に学校に登校して勉強ができるといった環境が整えられるのかなと思いました。

私の報告は以上になります。

○ **教育長（堀部好彦君）** 様々な視点からの報告ありがとうございます。

今感じたのは、いろいろな校長からのお話を聞かれて、例えば学年チーム担任制の動きだとか、成果だとか、そして校内教育支援センターについての動き、それからLGBTの生徒の話、また外国人生徒の散在化に係るような問題、今の可児市の教育、可児市が進めようとしている施策や抱えている課題が、端的に今指摘されたことにもなるかと思えます。学校訪問でそういった教育の課題をきちっと捉えて、こういう場で報告をしていただけると、また事務局の意識もより高まると思いますので、今後ともよろしくお願いします。

あと、校長の弁で、学校運営が楽しくて仕方がないというお話も大変うれしくお伺いをしました。これは、私としては16校の校長全員に望みたいことで、悩みながらもやっぱり学校運営って楽しいと思っていただけることを私も願っています。そういう中で、「笑顔の“もと”」を育む教育が進んでいくんじゃないかとも思いました。ありがとうございました。

○ **教育委員（小栗照代君）** おはようございます。

先ほど教育長からもお話ありましたが、6月24日に市長・尾木特別顧問との懇談会が開催されまして、参加させていただきました。そのときに、尾木ママがおっしゃるのは、子供ファーストではなくて子供センターなんだとか、それから挨拶運動ではなくて挨拶活動という言葉が私の中に残っているんですけども、やっぱり個々をすごく大切にするということであったりとか、それから子供の主体性を大切にする。ただ、ファーストではなくてセンターなんだよというような考え方、ここから時代によって子育ての考え方ってだんだん変わってきて、やっぱり今はそれが一番いいんだよというふうに分かっていると思うんですけども、そこは保護者も学校もやっぱり昔の先入観じゃなくて、変わっていかねばいけないというのをひしひしと感じました。

続いて、教育委員の学校訪問についてです。それぞれの委員さんがいろいろとお話ししていただいたので、ちょっと別の、同じような意見はちょっと省いてお話しさせていただきますと思います。市内を見ますと、改めて感じたのが、西のほうと東のほうの学

校では全く学校の雰囲気であったりとか、状態が違うなというのを今回もやはり感じました。特に、例えば土田小学校ですと31%が外国籍の方ということで、3分の1が外国籍というお話をお伺いさせていただきました。そうしますと、児童同士が母国語で話ができるので、日本語をしゃべらなくてもいいような状態になっているというお話もありましたので、そういったことを今回初めてお伺いして、そういった状態になってきているんだと感じました。

それから、外国籍の方の出入りが大変多いということと、今渡北小学校なんですけれども、外国籍対応の職員の数をとにかく増やしてほしいというような御要望が強くございました。

それから、学力についても質問させていただいたんですけれども、外国籍の方って、日本語が理解できないとやっぱり国語の能力が低いですから、学力もやっぱり低いのかというお話をしましたら、外国籍の子供たちは、学力がいい子もいるんですけど、やっぱり全般的に低いと。では、日本人の子供たちはどうですかというお話をしましたら、ある学校で日本人だけの学力を調べてみたというお話があって、そうしましたら、やはり日本人の子も全般的に低かったというようなお話をお伺いしました。

結果としては予想どおりかなというところを私自身は思っていたんですけれども、こういった調査をしていただいて、やっぱり改めて考えさせられます。外国籍の方は今後日本で、それから可児市でぜひ成長して就職したりして、可児市のために活躍してほしいと思いますので、ぜひ外国籍のお子さんたちにも力をどんどん入れていかなきゃいけないとも思うんですが、その反面、日本人の子供たちにも、外国籍の少ない学校の子たちと同じようなレベルの学力を身につけるようなことも、やはり同時にやっていかなければいけないなということを感じました。

それから、外国籍の子供たちが、もちろんマイナスだけじゃないんですけれども、その陽気さで学校の雰囲気がとても明るくていい方向だと、不登校とかということも少ない学校があったんですけど、外国籍の陽気な子たちに救われているというお話もありましたので、そういった面での交流をしながら、一緒に日本人の子も外国籍の子たちも育てていかなければいけないな、可児市ではということを感じました。

続いて、兼山小学校の学校訪問についてです。先ほど伊藤委員からも少しお話があったんですけれども、校長先生や教頭先生をはじめ、小規模特認校の募集について大変力を入れてくださっています。兼山小学校を訪問する前に瀬田幼稚園に訪問させていただいたんですが、そのときも兼山小学校の教頭先生がいらっしゃって、小規模特認校のお話をしに来てくださったというようなお話がありました。

ここで強く校長先生からお伺いしたんですけれども、幼稚園とか保育園、要するに1年生に上がる前のお子さんがいらっしゃる保護者の方たちに、小規模特認校の募集のことをアピールしたいというお話が以前からありまして、私も去年の終わり頃だったか、訪問したときもそういうお話があったので、ここの場でもお伝えをして、ぜひそういったセッティングをお願いしたいということをお伝えしたとは思いますが、今年度が始まって、PRできるのが総会ぐらいしかない。でも、その総会がもう終わってしまっていて、例えば運動会とか、そういった行事のところでは小規模特認校はどうですかというお話をできるような状況ではないので、もう少し早くそういったところのセッ

ティングをしてほしいというようなお話がございました。

私自身も、前回この会議で、以前にここでお伝えしただけで、フォローもしていなかったことを大変本当に申し訳ないと思っております。今回、事務局の方もちょうど同じ日に兼山小学校を訪問していただきましたので、できるだけそういったところをセッティングして、校長先生や教頭先生が動いてくださるという大変ありがたいことをおっしゃってくださっていますので、一人でも多く小規模特認校のよさを知っていただいて、兼山小学校にお越しいただけたらいいなと思っております。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

小栗委員も小規模特認校についてのお話をいただきました。校長は、いろんな考えで広告塔となり、努力をしていただいております。いろいろな訪問で話をされたこと、教育総務課長が捉えているということなんですけれども、一度小規模特認校の進捗の状況を把握するというので、事務局と校長で懇談が持てるといいと思えました。以前にも校長と懇談をさせてもらっておりますが、今年度の取組とかというところで、新たな校長の考えというのもあるかもしれませんので、その辺り聞けるといいと思いますので、これは教育総務課なんですけれども、学校運営にも係るところですので、学校教育課長も含めてそんな懇談が持てるいいと思えますが、事務局長どうでしょうか。

○ **事務局長（飯田晋司君）** ぜひ近いうちにやりたいと思います。

○ **教育長（堀部好彦君）** よろしく願いをします。

○ **事務局長（飯田晋司君）** お願いします。

○ **教育長（堀部好彦君）** やはりこうやって教育委員がいろんな提案をしていただくことで、事務局としても改めて気がついたりだとか、意識していなかったことも意識が高まることあると思いますので、いろんな御指摘を今後ともよろしく願いをします。ありがとうございました。

議事

○ **教育長（堀部好彦君）** それでは、議事に入ります。

○ **事務局長（飯田晋司君）** 議案書を御覧ください。

表紙の裏のページの目次のとおりです。本日、議案が2件です。

議案第21号 令和7年度使用教科用図書の採択について、議案第22号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について、以上2件についてよろしく申し上げます。

○ **教育長（堀部好彦君）** 本日の議事の議案第21号 令和7年度使用教科用図書の採択について、議案第22号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について及びその他の児童生徒校内事故、問題行動、交通事故等の記録については、意思形成に関わる案件や個人情報、プライバシーに関する情報のため、教育委員会会議規則第14条の規定により非公開とすることにしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、これらの件については非公開とします。

各課所管事項

○ **教育長（堀部好彦君）** 続いて、各課所管事項です。

○ **事務局長（飯田晋司君）** 私からは、大きく2点お話をさせていただきます。

先ほど来、教育委員の皆さんから学校訪問の報告等していただいております。教育委員の学校訪問については、5月末から7月12日にかけて、若干分散した形にはなったんですけれども、実施させていただきました。ありがとうございました。

私は、そのうち2日同行させていただいております。同行させていただいての感想というか、感じたことなんですけれども、各学校での教育委員の方からの意見、質問というのは、やっぱり行政職とか、ほかの教育関係者の考え、意見とはまた違う視点でのお話が聞けたような反応に思えるやり取りが、学校側も新鮮に受け止めているんじゃないかと思えるやり取りもあったので、本当に学校にとってもありがたいことだと私自身も見ていて思いました。これからも貴重な御意見を率直に伝えていただけるとありがたいと思いましたので、よろしく願いいたします。

それから、予算関連のことについてです。9月の補正予算で位置づけてもらうように予算要求しているものがございます。8月の教育委員会会議で、また教育に関する予算の意見として、教育委員の皆さんの意見をお伺いする予定のものについて、概要をお伝えいたします。

教育総務課の予算事業になりますが、。

まず、中学校の大規模改造事業で、エレベーターを必要とする生徒が入学する予定の学校の校舎についての設備設計の経費を予定しているということで御承知おきいただければと思います。

私からは以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございました。

○ **教育総務課長（水野 修君）** よろしく願いします。

私からも、学校訪問につきましてはお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

それでは、主な私からお話をさせていただくのが3点ございます。

まず1点ですが、教育総務課が担当しております工事、前回の会議の中でもこれから始まりますという話をさせていただきましたので、進捗のことについてお話をしていきたいと思います。

まず、スマイリングルームについてです。第2スマイリングルーム、可児川苑のところですが、現在50%ぐらいできている状態です。天井ですとか、壁、空調とか、その辺りが完成しておりますして、大体の外観的なところは、ほぼできているといったところになっております。あとは細かいところになりますので、もうちょっとお待ちいただくという形です。8月中には何とか完成をさせたいと考えておるます。

それから、桜ヶ丘小学校の長寿命化工事につきましても、夏休み中に動けるように準備をしています。仮設事務所は7月中に設置がされるということですので、いよいよこの夏休みに動くというところになりますので、お願いをいたします。

それから、トイレの洋式化につきましてはですが、今年、今渡北小学校、今渡南小学校、春里小学校、中部中学校、蘇南中学校で行っていきませんが、こちらにつきましてもおおむね手続的なところは今現在進めておりますので、夏休み中に動けるよう、施工の打合せを業者、学校と詰めている状況ということになっておりますので、お願いいたします。

それから、中学校のLED化工事につきましても、全て材料の発注が済んでおりますので、夏休みには工事を始められるというような進捗でございますので、御承知おきをいただきたいと思います。

それから、2点目です。

市のホームページですが、お手元の資料を御覧ください。以前より、可児市のホームページの中での教育委員会の情報がなかなか探し出せないと、私が思っていましたので、可児市のトップ画面に「笑顔の“もと”」のアイコンをつくりました。それで、これを押しただくという形になります。

もともと教育委員会独自のホームページではないんですけれども、教育委員会の既存のページに入りやすいようにということで、アイコンなど幾つかを整理させていただきました。このアイコンをクリックすることで、各学校のホームページも含めた教育委員会の情報に飛ぶようにしてあります。以前より入りやすくなっていると思いますので、また皆様方、御覧いただけるといいかなと思います。

アイコンは、可児市のトップページの可児市の魅力・取組コーナーの流れるアイコンの中の一つでございます。一瞬見るとないかなと思いますが、順番に流れてきますので、そちらのほうをクリックしていただけたらと思います。そこをクリックしますと、「可児市の学校教育 笑顔の“もと”を育む」というページが出てきますので、これが矢印の下のところですが、こちらのところに「笑顔の“もと”」の説明のほか、各学校ですとか、見たい教育情報のほうへ案内するリンクを付してあり、ツークリックで教育委員会に飛んでいく形にしましたので、今後こちらで教育委員会の、可児市の教育の情報を出していけるといいと思っております。よろしく願いいたします。

それからもう一点、お手元に「可児市のじまんとほこり」という冊子を配付いたしました。こちらにつきましては、可児市のふるさと教育に使用するというので、今年、歴史資産課で改訂版を出しましたので、参考にお渡ししますので御覧いただきたいと思っております。これまでは古いものでは冊子版、それから現状のものではデジタル版でしたが、ぜひ家庭でも見てもらいたいという市長の思いもありまして、冊子版が復活したということになります。歴史資産課によりますと、今年度は小学校6年生に全員、それから中部中学校の1年生、これは実は可児市長が中部中学校の1年生の授業に、「可児市のじまんとほこり」という授業をするということですので、中部中学校の1年生に事前に配付をしているということです。

来年度はさらに増刷をいたしまして、来年度の中学校2年生、3年生、それから小学校6年生に配付をいたしまして、小学6年生以上の子には全ての子に行き渡るというようなことになるということです。こちらのほうも御承知をいただきたいと思っております。私からは以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **学校教育課長（木村正男君）** お願いします。

前回の教育委員会会議以後の学校の動き、主なものだけをお伝えします。

4点です。

1つ目ですが、先月に引き続き教育長訪問が終わりました。桜ヶ丘小学校を最後に、市内16校全部回りました。総じて可児市内の学校、どの学校も落ち着いた環境の中で教

育活動を展開しているということを確認しました。ただ、若干課題がありました。今回の訪問で課題として上げたことは、9月、10月にある可茂教育事務所の学校経営指導管理訪問で確認していきたいと思っております。

2点目です。可茂地区の中学校総合体育大会が開催されました。県大会に続いていく大会ですが、熱中症などの対策を取りながら、どの会場も熱心に取り組む中学生の姿が見られました。地域クラブ活動へ移行していく中で、地域指導者がベンチに入って試合の観戦もしくは指導している姿も見られる一方で、学校職員がベンチに入って観戦、指導しているといういろいろな姿が見られました。今後の動きについては、文化スポーツ課と連携しながら、ちょうど2年生が今度中心になる時期に、またいろいろ組織の変更があると聞いていますので、見届けていきたいと思っております。

3点目です。各学校の夏休みにもうすぐ入ってきますので、授業はあしたまでです。20日から夏休みに入りまして、8月29日が授業日開始になっております。40日間の長期休みとなりますが、充実した生活となるように、各学校では長期休み前の過ごし方、長期休みの過ごし方を子どもたちに伝えているところです。

最後です。学校に日直を置かない日は、今年度は8月6日から16日までの11日間です。この期間は、県教委の主催する会議、研修もしないことになっております。学校の教職員も、夏季休暇や年休を取ってリフレッシュするような期間になるように伝えているところです。

以上4点です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
- **教育研究所主任指導主事（石黒智子君）** お願いします。

教育研究所よりという資料がありますので、御覧ください。

では、資料について大きく4点お伝えします。

1つ目は、1ページにかけて8月の予定です。教職員の資質向上のための研修を多く組んでいます。

2つ目は、2ページの不登校対策として、スマイリングルームの開校に向けてです。先ほど教育総務課長から話がありましたが、可児川苑の施設の完成は9月2日を予定しています。その後、オープニングセレモニーを9月18日、見学期間を設けて、開校日を学校の後期のスタートに合わせ、10月15日と設定しています。また、スマイリングルームの動きとして、メタバースを使ったメタスマイリング可児の紹介を「10分で分かるメタスマイリング可児」というビデオを作成し、学校でも視聴してもらえるようにしています。

3つ目は、3ページのふるさと教育です。先ほども話がありましたが、市長による授業ということで、希望する小・中学校で市長による授業をしていただいています。可児市の自慢と誇りを再認識できる時間にしていきたいと計画しております。

4点目は、先ほど伊藤委員からお話をいただいた架け橋プログラムを担当している指導主事が担当しておりますが、次年度に向けて新就学児の対応をしています。療育機関に通う保護者の方や園の協力を得ながら、小学校への入学後の児童の困り感を少しでも減らせるように密に連絡を図っています。学校見学は、60組の年長児の保護者が希望されました。また、観察訪問は80名以上となる見込みです。

以上、教育研究所からとなります。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
市長による授業は、計6校というふうに伺っておりますが。
- **教育研究所主任指導主事（石黒智子君）** この資料を作成してから追加となっております。
- **教育長（堀部好彦君）** そういことですね。ここに上げてある学校にプラス3校が計画されているということですので、よろしくお願ひします。
ありがとうございます。
- **学校給食センター所長（水野伸治君）** よろしくお願ひします。
私のほうからは、2つお願ひいたします。

先ほど教育長と長井委員からも御報告いただきましたが、7月5日、可児市学校給食運営委員会を開催させていただきました。給食センターの事業等を御報告させていただきました、御了承いただきました。ありがとうございます。

2つ目です。6月と7月に予定しておりました給食の献立の変更がありましたので、御報告をさせていただきたいと思ひます。

6月24日月曜日ですが、学校から給食センターに、主食として提供予定の食パンの一部に、ちょっとカビっぽいものが付着しているということで連絡がありました。学校へパンを取りに行くと同時に、その製造業者にもセンターへ来ていただいて、一緒に状況のほうを確認させていただきました。

業者のほうによりますと、付着していたものはカビではなくて、パンを切るスライサーの刃の部分とアルミ製の台座部分が接触してしまうことでパンに黒い汚れが付着してしまったということで、過去にもほかのセンターで同じような事案が起きたということでございました。その後の対応としまして、16校全ての被害状況把握とその補充につきましては、時間も量的にもちょっと厳しいと判断いたしまして、事務局長と相談して、食パンについては提供を中止させていただきまして、代わりに非常用の「救給カレー」を提供することといたしました。保護者の方々につきましては、お昼過ぎに学校教育課より、すぐーるでのおわびの連絡をさせていただいております。

後日、パンの製造業者から報告がございまして、保健所と岐阜県学校給食会による製造工場の調査におきまして、汚れのほうは、やはりスライサーの刃とアルミ部分との接触が原因であることが確認されたこと、それから合計で83枚のパンに汚れが付着していたこと、再発防止のためにスライサーのウイング交換もしくは買換えを行いたいという内容の報告がございました。

あわせて、スライサーが使用できるようになるまでの間は食パンの提供が厳しいので、別のパンに変更してほしいという申出もございましたので、保護者の方に事前に御連絡をさせていただきまして、7月8日月曜日に予定しておりました食パンをコッペパンのほうに変更して提供しております。多くの方に御心配と御迷惑をおかけして申し訳ございませんでした。

先ほど教育長からの御報告ございました昨日の大雨警報の件ですが、9時半の解除ということでございましたので、給食センターのほうでは簡易給食ということで、学校へは配達されるワカメ御飯と牛乳、あとフローズンヨーグルトのみの提供となりました。

あわせて御報告をさせていただきます。

私のほうからは以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
今、各課からのお話につきまして、御質問、御意見等ございますでしょうか。
よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

委員からの提案協議事項

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、次に教育委員からの提案協議事項についてを議題といたします。

何かございますでしょうか。

よろしいですか。

- **教育委員（梶田知靖君）** 今回学校訪問をさせていただいて、何校かあったんですけど、やっぱり子供たちが減っているというお話もありまして、他の市の、私の教育委員としてではなくて同業者の方、他の市の方とお話することがあったりするんですけど、子供たちが減ってきて、ここの学校を閉鎖して1つの学校にするだったりとか、そういったことも可児市も少し考えていけないと少し思いました。

東明小学校が今各学年1クラスだったりとか、あと東可児中学校も今年は北舎のほうへ案内されても、こっちのほうは全然使っていないというお話もされていて、来年は1年生が1クラスか2クラスと言ってみえたのかな。西可児中学校も大分少なくなっているというお話もされてみえたので、将来的には少しそういったことも考えていけないと思いました。

私の提案事項は以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

私どももその辺り、今後の展望をしながら今から考えていくべきではないかと思っております。ずっと教育委員の研修として、昨年度、一昨年度、不登校ということで視察研修を行ったんですけれども、今後は今、梶田委員が言うておられるような少子化等を踏まえた今後の可児市の学校の在り方について研修ができればと少し考え始めております。今後、また事務局から研修についての提案があるかと思っておりますので、よろしくお願いをします。ありがとうございます。

ほか、よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

その他

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、次にその他に行きます。

次回の日程等です。

- **教育総務課長（水野 修君）** 次回会議の日程についてでございますが、次回は8月19日の月曜日午前9時から、場所は市役所4階第3会議室になりますので、よろしくお願いいたします。

なお、9月の日程につきましては現在調整中ということになりますので、また委員の

皆様にお聞きしながら調整してまいりますので、よろしく申し上げます。以上です。

(以下非公開)

(以上非公開)

閉会の宣告

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、以上で全て終了ということで、これにて教育委員会会議を閉会します。お疲れさまでした。ありがとうございました。

閉会 午前10時54分